

# 『富士見市の財務状況把握結果の概要』

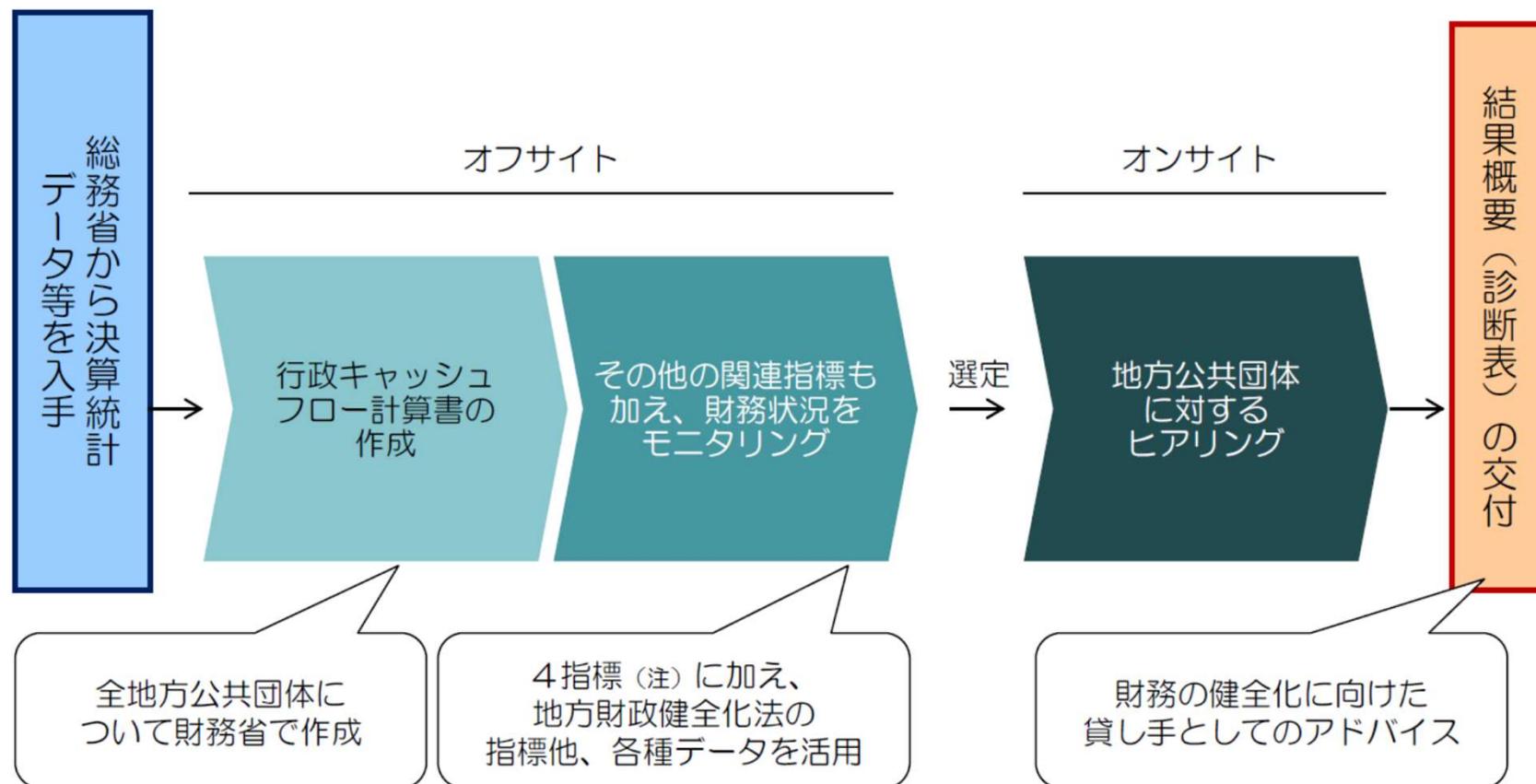
令和5年1月17日（火）

財務省関東財務局

# 財務状況把握の流れ等

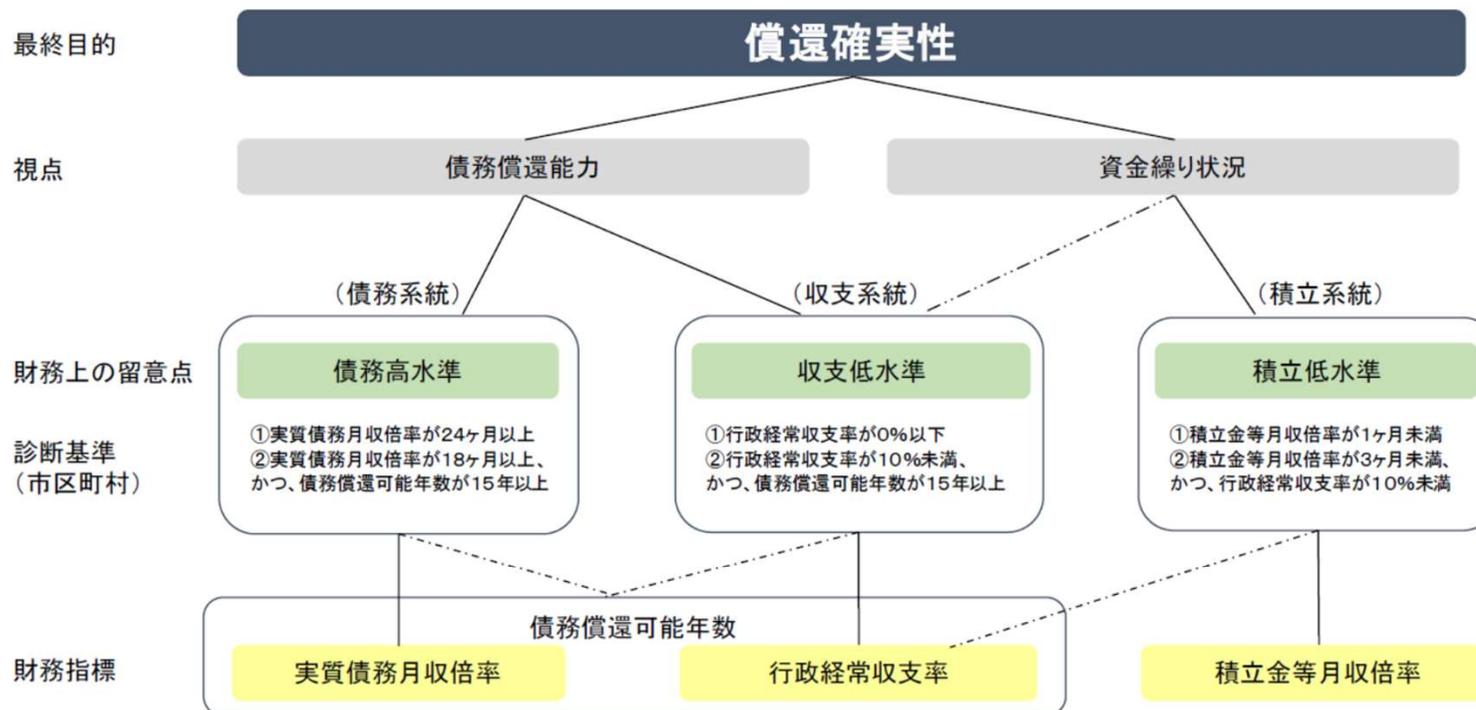
## ○財務局・財務事務所等における財務状況把握の流れ

- 財務状況把握は、財政融資の償還確実性を確認する観点から、地方公共団体の財務状況(債務償還能力と資金繰り状況)を把握するものであり、また、結果概要(診断表)の交付により、地方公共団体に対する財務健全化に関するアドバイス(情報提供等)や財務状況悪化に対する事前警鐘の役割も担っている。



(注) 4指標とは、行政キャッシュフロー計算書に基づきストック面を重視して算出した「債務償還可能年数」、「実質債務月収倍率」、「積立金等月収倍率」及び「行政経常収支率」の4つの財務指標のことをいう。

# 償還確実性と財務上の留意点の関係及び財務状況把握の4つの財務指標

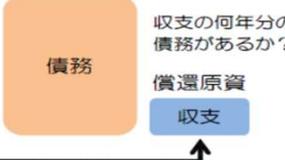


- 地方公共団体の決算統計を利用して作成する行政キャッシュフロー計算書に基づき、ストック面を重視した以下の財務指標を算出し、財務状況把握を実施。

| 指標名       | 計算式                  | 視点             | 意義                             | 備考(家計に例えると)              |
|-----------|----------------------|----------------|--------------------------------|--------------------------|
| ①債務償還可能年数 | 実質債務 / 行政経常収支        | 債務償還能力         | 1年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを確認 | ローンの返済に何年かかるか            |
| ②実質債務月収倍率 | 実質債務 / (行政経常収入 / 12) | 債務の大きさ         | 1月当たりの収入の何ヶ月分の債務があるかを確認        | ローンの返済が給与の何ヶ月分あるか        |
| ③積立金等月収倍率 | 積立金等 / (行政経常収入 / 12) | 資金繰り余力         | 1月当たりの収入の何ヶ月分の積立金があるかを確認       | 預貯金が給与の何ヶ月分あるか           |
| ④行政経常収支率  | 行政経常収支 / 行政経常収入      | 償還原資<br>経常的な収支 | 1年間の収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを確認  | ローンの返済に回せるお金は給与のうちどのくらいか |

# 4つの財務指標

財務上の留意すべき点は、主要な4つの財務指標を利用して、ストック面及びフロー面の両面から分析する。

|                    | 意義                                                                                                                   | 算式                                                                                                                                                                            | 家計に例えると             |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 債務償還可能年数<br>(単位：年) | 1年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているか<br><br> | $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ <small>※実質債務＝地方債現在高＋有利子負債相当額－積立金等</small><br><br>      | ローンを返済するのに何年かかるか    |
| 実質債務月収倍率<br>(単位：月) | 一月当たり収入の何ヶ月分の債務があるか<br><br>         | $\frac{\text{実質債務}}{(\text{行政経常収入}/12)}$ <small>※実質債務＝地方債現在高＋有利子負債相当額－積立金等</small><br><br> | ローンが給与の何倍か          |
| 積立金等月収倍率<br>(単位：月) | 一月当たり収入の何ヶ月分の積立金があるか<br><br>      | $\frac{\text{積立金等}}{(\text{行政経常収入}/12)}$<br><br>                                         | 預貯金が給与の何倍か          |
| 行政経常収支率<br>(単位：%)  | 収入からどの程度の償還原資を生み出しているか<br><br>    | $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$<br><br>                                            | ローンの返済に回せるお金はどのくらいか |

# 富士見市の財務状況把握結果

## 1. 診断年度(令和2年度決算)

債務償還能力、資金繰り状況ともに留意すべき状況にはない

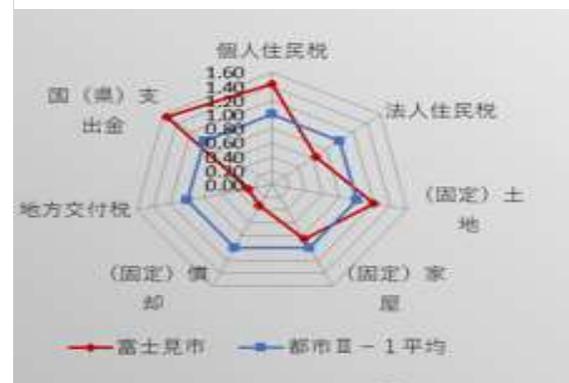
### □ 収支状況からみた貴市の強み

- 土地区画整理事業等の実施、シティプロモーションに注力し、商業施設の誘致(ららぽーと富士見)や待機児童0人にするための施設整備などの取組が奏功し、直近10年間、給与所得者数が増加(6,178人増加)
- 他市と比べ地方税収(特に個人住民税)の獲得が優位にあり、この地方税収入を支えに安定した行政経常収入の確保に繋がっている。

### □ 積立金等月収倍率からみた留意点(積立金等月収倍率2.9か月(<3.0か月))

- 平成23年度の積立金等残高47.7億円に対し、令和2年度と同残高は80.1億円に達しており、積立金等月収倍率が2.9か月(令和2年度)にまで上昇。
- 他方、大規模改修工事に伴い公共施設整備基金(特定目的基金)等を取り崩し。学校施設整備事業等への支出や、地方債の元金償還による財源不足を補うために財政調整基金を取り崩し。これにより、積立金等残高の水準を押し下げ、積立金等月収倍率は3.0か月未満となっている。

(R2) 行政経常収入に対する収入科目の割合



積立金等月収倍率(月)・各種基金残高(百万円)



積立金等残高並びに類団平均



# 富士見市の財務状況把握結果

## 2. 今後の見通し

### □ 行政経常収支率は低下

- IT人材を増員しているなどによる人件費の増加。
- 介護給付費等の増加、医療扶助等の増加などによる扶助費の増加。
- 志木地区衛生組合が実施する富士見環境センターの大規模改修工事に対する建設負担金や公債費負担金など補助費等の増加。
- これにより行政経常収支は減少し、行政経常収支率は低下する見通し。

### □ 債務償還可能年数は長期化

- 学校施設整備事業や新庁舎建設事業などに係る起債により地方債現在高の増加。
- 学校施設整備事業への一般財源からの充当に加え、引き続き公債費が嵩み、これにより生じる財源不足を財政調整基金の取り崩しで補うため積立金等残高は減少。
- これにより、実質債務は増加し、債務償還可能年数は長期化する見通し。

### □ 積立金等月収倍率は低下

- 上述のとおり積立金等残高が減少し、積立金等月収倍率は低下する見通し。

# 富士見市の財務状況把握結果

## 3. まとめ

- ・現状、債務償還能力・資金繰り状況に留意すべき状況にはない。
  - ・今後、行政経常収支率や積立金等月収倍率が低下し、債務償還可能年数も長期化する見通し。
  - ・財政負担の軽減を図り、健全かつ安定的な財政運営が継続されることが望まれる。
- 
- 今後、新庁舎建設事業等の実施に伴い実質債務が増加、一方、行政経常収支は減少する見通し。
  - 予定する事業の実施においては、民間活用（PPP/PFI）の導入や施設の複合化の検討も一案。